

資料 1 - 4

基盤整備の実施状況について

2017年3月17日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

今後長期にわたる廃炉作業を確実に進めるため、その基盤を整備していくことが必要であり、応急的に設置した設備も含め、設備の信頼性向上等に取り組んでいる。

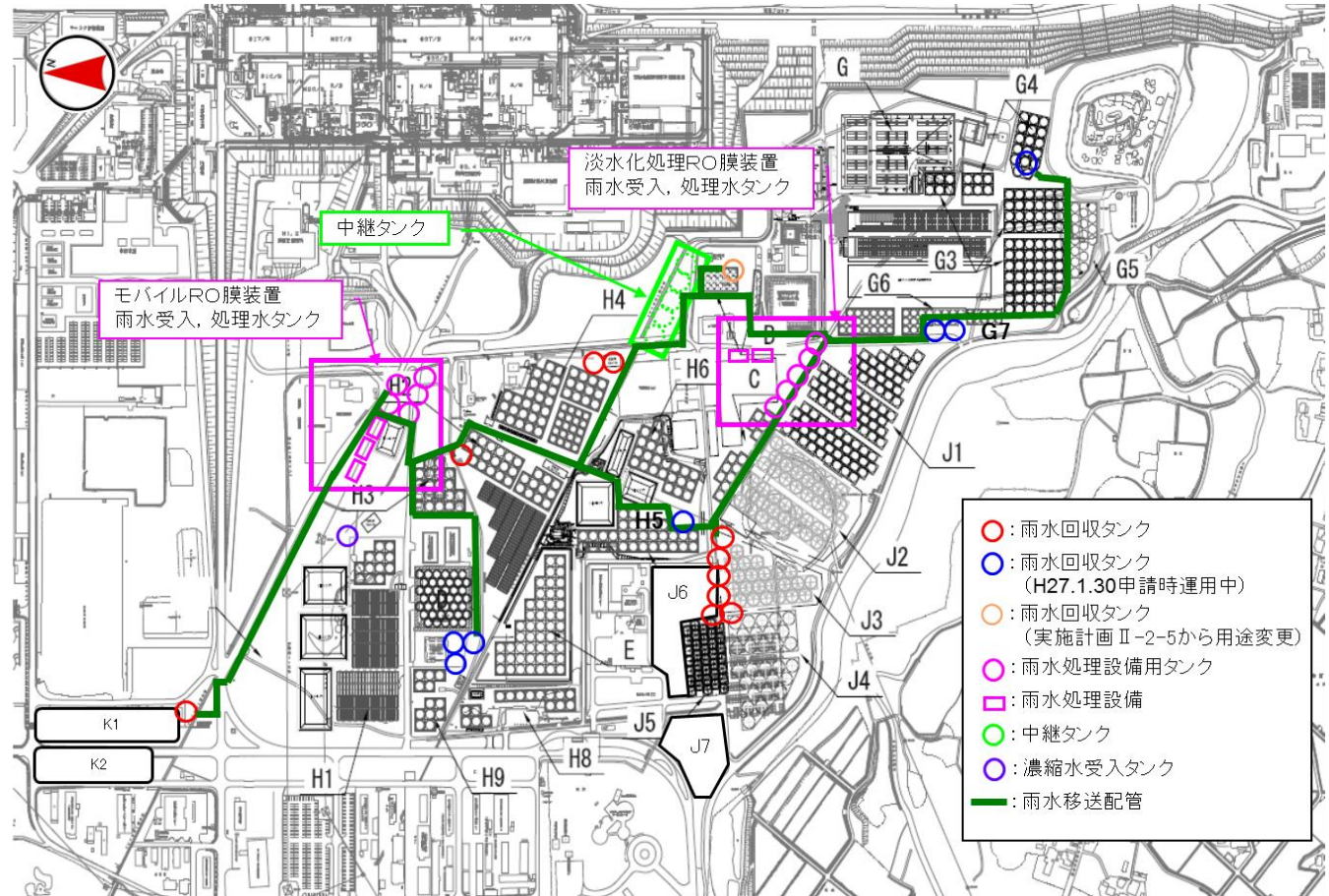
この基盤整備の取り組みの内、主な項目として以下について現在の進捗状況を次頁以降に示す。

1. 耐圧ホースの取り替えについて

2. ケーブル対策状況

1-1. 耐圧ホースのPE管切り替えについて

- 現在、雨水移送ラインの耐圧ホースについては、PE管への切り替えを進めている。2015年6月時点での計画範囲についてPE管設置は約8割程度（約12km/約15km）完了しており、準備が整い次第、耐圧試験・使用前検査を実施し、運用開始する予定。また、タンクリプレイスに合わせて一部撤去。今後、新規タンクエリアについても、順次計画し、切り替えを実施していく。



雨水PE管 概略配置図

- ・ 告示濃度比0.22超えの雨水移送ラインについては、2017年3月末にPE管設置完了予定

項目	2016年度			2017年度				備考
	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	
PE管設置								
雨水移送ライン (告示濃度比0.22超え、 回収タンク～処理装置)	■■■■■							※ 2016年10月末設置完了
雨水移送ライン (告示濃度比0.22超え、 堰内～回収タンク)		■■■■■						※ 2017年3月末完成予定
雨水移送ライン (告示濃度比0.22以下、散水ライン除く)		■■■■■		■■■	■■■	■■■	■■■	※ 2017年6月末設置完了予定 (その後はタンクエリア リプレースに合わせて 設置)

※使用前検査等実施時期調整中

2. ケーブル対策状況

(1) 高圧ケーブル電路状況

震災直後

現在

①地這エフボックス



②門型架台(重要連系線)



③壁面へのサポート固縛(2012年度以降)



④トラフ設置(2013年以降の新設電路)



震災直後の緊急復旧のため、高圧ケーブル収納のエフボックスを地這いさせている箇所がある。

(2) 高圧ケーブル基盤整備について

a. 高圧注意表示取付

地這高圧エフレックス管に高圧注意表示を取付実施
(2015年度完了)

b. 地這高圧ケーブル電路改造

① トラフへの収納による電路強化

樹脂製トラフを布設し、その中へ地這エフレックスを収納する。

(実施中 1回路のみ他工事調整により、2017年6月完了予定。それ以外は2017年3月完了予定)

② 仮設変圧器盤負荷停止による高圧電源停止

仮設変圧器盤の負荷移設を行い、当該地這高圧ケーブルを停止する。(実施中 2017年3月完了予定)

(3) 低圧ケーブル基盤整備について

低圧ケーブルについては、回路数が膨大かつ広範囲のため、重要度および損傷リスクの高い箇所から共通電路を構築し、回路移設を実施する。

現在、プロセス主建屋4階および高台炉注設備エリアの電路構築検討中



2. <参考> 電路強化対策の対応単結

